



2019年度

事業報告

地域別事業報告
テーマ別事業報告

地域別
事業報告

1 アセアン地域



ASEAN region



東南アジア10カ国(ブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム)からなる地域協力機構ASEANの域内人口は6億5000万人超、域内名目GDPは約3兆米ドル、日本の約60%の巨大経済圏であり、日本の直接投資はアセアン地域がアジアにおいて最大の投資先となっています。また日本はアセアンにとって第4の貿易相手国であり、経済的な相互依存関係は拡大しています。2015年に「アセアン経済共同体」が設立され、引き続き経済成長が見込まれます。日本政府との間には、「日ASEAN10年間戦略的経済協力ロードマップ(2016-2025)」が策定され、「人材育成の推進」、「産業支援」、「インフラその他の開発」をより強化することが求められています。近年、日本企業はタイプラスワンとしてラオス、カンボジア等へ新工場を設立するケースが見られるようになり、タイのマザー工場から労働集約的な生産工程の一部を移管したり、製品を差別化し分業体制を確立していく動きもみられ、それにともない人材育成のニーズも多様化してきています。AOTSでは、近年の日本企業の海外展開に沿う形で、アセアン地域に対して最も多くの事業を行っています。

2019年度は自動車および同部品、電子部品、IT、建設業等を中心に幅広い分野の技術移転を図り、現地の日系企業はもとより取引先である地元企業を含めた地場産業全体の生産性や技術力の向上に貢献しています。また、同地域の産業基盤や社会基盤のインフラ整備需要が大きくなっていることを踏まえ、現地の貿易投資環境の整備、円滑な貿易投資を推進するための技術協力、インフラ整備を人材育成の観点から支援しました。

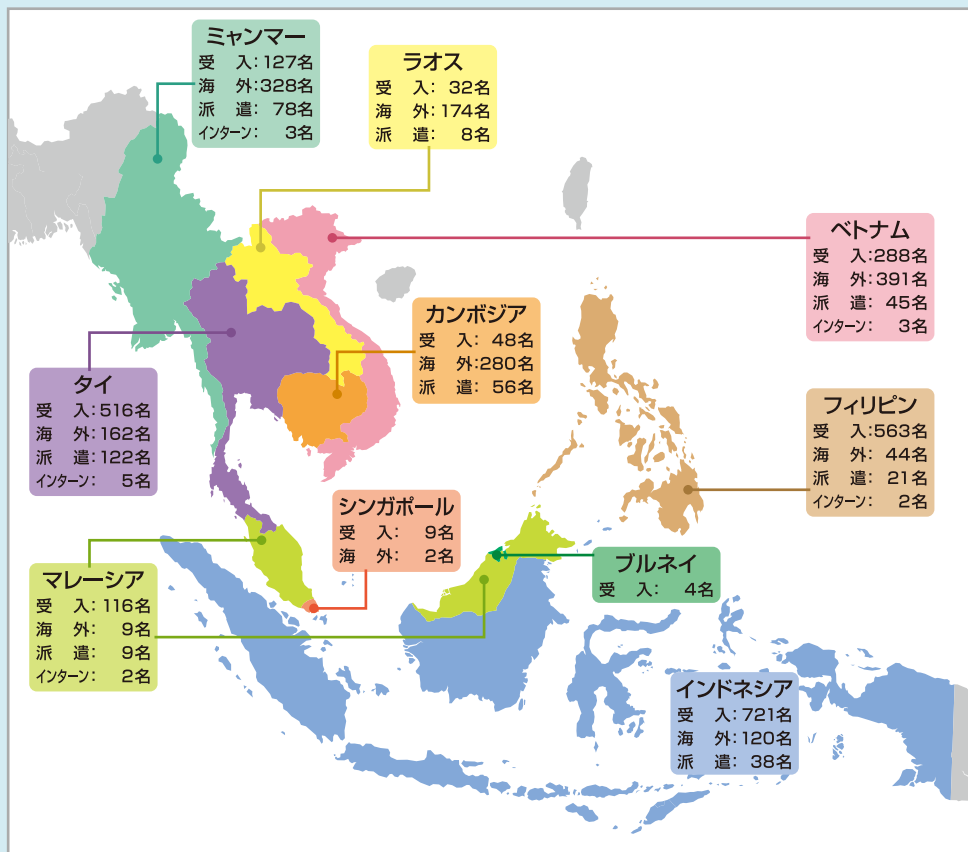
アセアン地域における国別実績(2019年度)

受入研修生数
2,424名

海外研修生数
1,510名

派遣専門家数
377名

派遣インターン数
15名



Focus インドネシア *Indonesia*

2019年度にインドネシアから受入れた研修生および看護師候補者・介護福祉士候補者は721名と国別では最も多くの研修生・候補者を受け入れました。

日本とインドネシアとの二国間経済連携協定に基づき、日本の国家資格を取得し、看護師・介護福祉士として就労するために来日した看護師候補者・介護福祉士候補者の総勢333名に対する6カ月間の受入研修では、病院、介護施設での就労に入る前の導入研修として日本語や日本の社会・文化に関する研修を実施し、候補者の円滑な就労に向けた支援を行いました。

また、現地日系企業に勤務する産業技術者や現地企業の管理者163名が、専門分野の固有技術、低炭素化技術を習得する技術研修や同国で成長している自動車・二輪産業における生産性の向上や企業経営等の管理者向けの研修を受けました。さらに、下水道整備の遅れにより都市部を中心に水質汚濁が問題になっていることを受け、日本企業の優れた水インフラ技術、運営管理方法の導入等を目的に、プカシにおいて海外研修を実施しました。

専門家派遣でも、補助事業において自動車産業関連製造業での生産性向上の技術指導や、経済産業省からの受託事業として実施した製造業基盤人材育成、介護福祉士制度導入支援、泌尿器腹腔鏡普及促進、発電用バイオマス燃料持続可能性認証導入等を目的とした指導をはじめ、全事業合計で38名の専門家を派遣しました。

日ASEAN経済産業協力拠出金に基づく支援事業においては、ダルマプルサダ大学で日本式モノづくり、バンドン繊維ポリテクニクで日本企業文化、5S・カイゼンをテーマとした寄付講座をAOTSが直接執行しました。

Focus フィリピン *Philippines*

インドネシアに次ぐ563名を日本に受入れ、21名の専門家を派遣しました。日本とフィリピンとの二国間経済連携協定に基づき来日した看護師候補者・介護福祉士候補者に対する6カ月間の受入研修を2009年度以降実施しており、2019年度は42名の看護師候補者、283名の介護福祉士候補者に対し、就労に入る前の導入研修として、日本語や日本の社会・文化に関する研修を実施し、候補者の円滑な就労に向けた支援を行いました。

その他、現地日系企業等より派遣された産業技術者および現地ローカル企業等の管理者123名が建設や重電機器、産業機械等の専門分野における固有技術、低炭素化技術の習得のための研修や環境経営、企業経営等の管理研修に参加しました。現地フィリピンにおいては、厚生労働省からの受託事業において労働安全衛生と職場環境改善をテーマとした現地セミナーを実施しました。また、AOTSセブ同窓会は設立25周年を迎えました。

Focus タイ *Thailand*

2019年度に日本に受入れた研修生等は516名、現地に派遣した専門家は122名にのぼり、多くの実績をあげました。受入研修のうち246名は、現地日系企業等より派遣された産業技術者および現地ローカル企業等の管理者でした。自主事業では、タイ地方電力公社向けセミナー等を実施しました。経済産業省からの受託事業においては、延べ104名の日本人専門家をLean Automation普及促進、自動車部品産業電動化支援、脊椎内視鏡技術普及支援、環境計測技術向上IoT活用支援等、幅広い目的で派遣し、同国の持続的発展に貢献するとともに、日本企業の進出をさらに加速するための産業インフラ・基盤整備に対する支援を行いました。また、日本人インターンをタイの現地企業等に5名派遣し、日本人のグローバル人材の育成を行いました。

日ASEAN経済産業協力拠出金に基づく支援事業では7つの拠点で寄付講座が開催されました。モンクット王工科大学トンブリ校では、ものづくりのR&D技術、タマサート大学、パンヤピワット大学で

はAIをテーマとした講座をAOTSが直接執行しました。アセアン進出日系企業を通じた産業人材育成支援事業では、アセアン域内企業がアセアンにある日系企業から専門家を受け入れ指導を受ける、また、アセアン域内で研修生を派遣し技術指導を受ける制度を通し企業への助成を行いました。当事業においては、企業申込みの専門家派遣58案件のうちタイから専門家を派遣した案件は43案件、研修89案件のうち、タイで研修を実施した案件は56案件になり、タイ日系企業の技術力の向上と製造の拠点化であるタイからアセアンに広がる日本のものづくりの技術移転がみられました。

Focus ベトナム *Vietnam*

2019年度は受入研修実績のうち、155名が現地日系企業等より派遣された産業技術者および現地ローカル企業等の管理者で、建設、IT、自動車関連製造業等の専門分野における固有技術の習得のための研修や企業競争力強化等の管理研修に参加しました。現地ハノイでは、厚生労働省からの受託事業において、使用者団体合同のワークショップ(三國型)や人材管理をテーマとしたセミナーを開催しました。日ASEAN経済産業協力拠出金に基づくアセアン進出日系企業を通じた産業人材育成支援事業では、協会企画型としてダナンにおいて5S改善と標準化、ホーチミンにおいてTPMをテーマとした研修を実施しました。

専門家派遣では、製造業分野や情報サービス分野における指導や経済産業省からの受託事業において公害防止管理者制度構築支援、自動車裾野産業発展支援、ものづくり支援人材育成支援、IT人材育成支援等を目的に、延べ45名の専門家を派遣しました。また、日本人の海外インターンシップ派遣事業では、3名の若手社会人を現地企業へ派遣しました。

Focus ミャンマー *Myanmar*

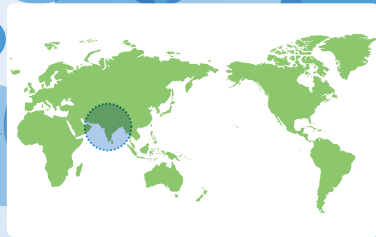
2019年度は、受入研修には127名、海外研修には328名が参加し、延べ78名の専門家、3名のインターンを派遣しました。現地日系企業等より派遣された産業技術者および現地ローカル企業等の管理者45名は、建設、製造業等の専門分野における固有技術の習得のための研修やリーダーシップをテーマとした管理研修に参加しました。専門家派遣では、経済産業省からの受託事業において化学物質管理高度化支援、LPガス安全法制度構築支援、鉄鋼技術普及展開支援等で延べ40名派遣しました。日ASEAN経済産業協力拠出金に基づく支援事業において、タンリン工科大学で日本企業文化、工学基礎をテーマとした寄付講座をAOTSが直接執行しました。また、同支援事業において、AOTSの企画としてマンダレー、ティラワで5Sと生産性の改善をテーマとした研修を実施し、ダウエーでは運営管理をテーマとした研修を実施しました。インレーではOTOP(一村一品)活用によるSME新興というテーマで、タイ同窓会とミャンマー同窓会が連携し企画したセミナーを実施しました。

Focus マレーシア *Malaysia*

2019年度は、受入研修には116名、海外研修には9名が参加し、延べ9名の専門家、2名のインターンを派遣しました。自主事業である新国際協力事業において、マレーシア政府からの委託を受け、マレーシアの政府関係者等14名に対し、日本の企業文化などを学べる2週間のセミナーを開催しました。以前AOTSがマレーシア政府より受託していた「ルック・イースト研修事業」のアドバンス版という意味を込め、「ルック・イースト2.0」と銘打って実施しました。修了式には駐日マレーシア特命全権大使ダト・ケネディ・ジャワン閣下にご参加いただきました。

地域別
事業報告

2 南アジア地域



South Asia region



インドを中心とする南アジア地域は引き続き大きな経済的潜在力を有しており、中間層・富裕層の拡大による都市化、消費の拡大、豊富な人的資源に世界が注目しています。

インドの人口は12億人超、実質GDP成長率6.8%、また、IT大国、英語を話せる労働力の豊富さから、日系企業の進出数は引き続き増加傾向であり、日本からの投資、貿易の拡大とともに、現地の人材育成ニーズも高まっています。

南アジア地域における国別実績(2019年度)

受入研修生数

543名

海外研修生数

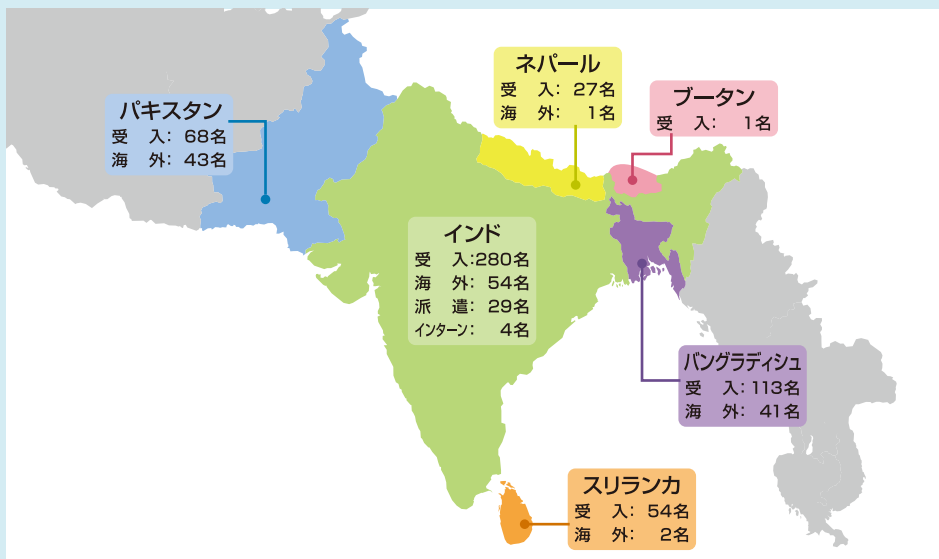
141名

派遣専門家数

29名

派遣インターン数

4名



Focus

インド

India

現地日系企業等より派遣された産業技術者および現地ローカル企業等の管理者の人材育成をはじめ積極的な支援を行っており、自動車等の専門分野における低炭素化技術の移転を目的とする研修や、ものづくりの管理手法やエネルギー管理を学ぶ研修等を実施し全事業で280人の研修生を受入れました。そのうち自主事業では中小零細企業省来日ミッション、自動車部品工業会向けリーダーシップセミナー、造船現場リーダー養成プログラム、インド国内最大の酪農協同組合連合であるグジャラート州酪農協同組合連合会向けの企業経営コース(P.24参照)の4コースを実施しました。

また、経済産業省からの受託事業では、鉄鋼技術普及展開支援、物流人材育成支援、紙リサイクルシステム構築支援、製造業人材育成支援、電動車関連規格策定支援を目的とした受入研修、専門家派遣を行いました。

厚生労働省からの受託事業では、ブネ、ニューデリーで「グローバル時代と管理職の役割の変化」「MTPの基礎」をテーマとした国際労働関係のセミナーを実施しました。

インド各地のAOTS同窓会は活発に活動を行っており、新たにトリバンドラムにおいて同窓会が設立されました。また、

2020年1月のインド工科大学カラグプール校との覚書締結に続き、5月10日にグワハティ校とも、人材育成、研究協力、ビジネス交流等に関する包括的な協力関係を構築するための協力覚書を締結し、スズキ(株)が同校の学生を対象に実施した教育プログラムに参画し、日本語授業と専門講義を行いました。

Focus

バングラデシュ

Bangladesh

2019年度も同窓会との連携を図りつつ、113名の産業人材等を日本に受入れ、企業経営等の研修を実施しました。厚生労働省からの受託事業では、ダッカで「グローバル時代と管理職の役割の変化」をテーマとした国際労働関係のセミナーを実施しました。

バングラデシュは同窓会活動が活発な国の一つであり、昨年30周年を迎えたチッタゴン同窓会(CAAS)は、新たな研修所「AOTS-CAAS Research and Training Center」を開所しました。また、コックスバザールエリアの発展に伴い、研修等のCAASの同窓会活動の拡大およびコックスバザール支部設立を目指しており、その一環として2019年度は自主事業の受入セミナー「バングラデシュ・インダストリアルツアー」にコックスバザールから10数名の研修生をCAASを通じて招へいしました。

地域別
事業報告

3 東・中央アジア
地域



East and Central Asia region

日本と地理的に近く、経済的に密接な関係にある東アジア地域の持続的な発展は、日本経済の成長にとって必要不可欠です。特に、中国と日本との経済関係は緊密かつ強い相互依存にあり、日本の対中直接投資額は第3位及び進出企業数は第1位であり、両国の良好な経済関係を維持することは重要な課題となっています。

東・中央アジア地域における国・地域別実績(2019年度)

受入研修生数

171名

海外研修生数

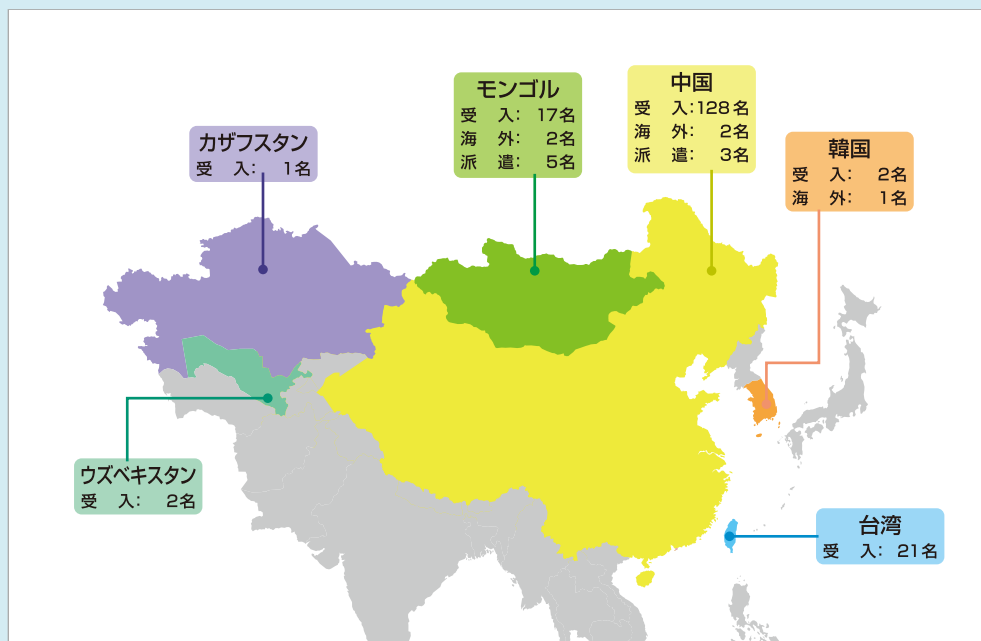
5名

派遣専門家数

8名

派遣インターン数

0名



FOCUS

中国

China

中国では大幅なエネルギー需要の伸びを伴う経済発展のなか、CO2削減および省エネルギー対策を促進することが課題となっており、2019年度は、主に低炭素化技術移転を目的とした事業を行い、製造工程における省エネ化技術等の受入研修に47名が参加、また、3名の専門家を派遣しました。海外研修では、三脚メーカーが中国工場からのモデル移管を目的に、ミャンマー工場のスタッフを中国に招聘し研修を実施しました。自主事業では、オフィスビル複合商業施設価値向上やリーン生産管理をテーマとしたセミナーを実施しました。

FOCUS

台湾

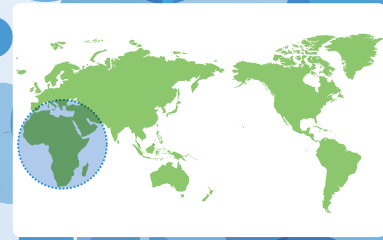
Taiwan

受入研修に21名が参加しました。2019年4月30日付で台湾同窓会は、台湾政府内政部(内務省)より設立証書を受け、正式に再興を図ることになりました。新メンバー加入と活動再開により台湾同窓会は、国内会員の相互交流、世界に広がるAOTS同窓会との連携、国際交流の促進にあたります。



地域別
事業報告

4 中東・アフリカ
地域

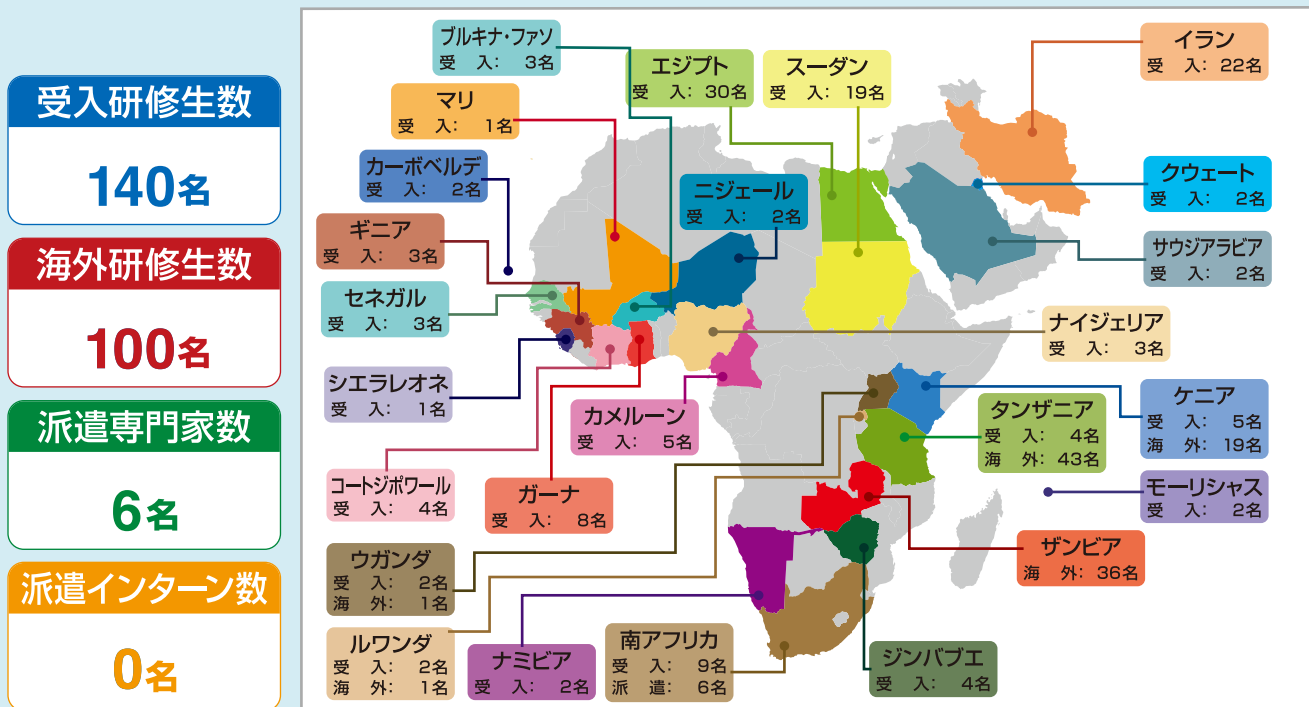


Middle East and African region

中東・アフリカ地域は、豊富な天然資源を有し、着実な人口増加による市場の成長に、各国は特にアフリカ地域への投資に注視しています。

中東・アフリカ地域と人的交流およびエネルギー関係の強化を進め良好な経済関係を維持していくことは日本経済にとって必要不可欠であり、産業の多角化が進む当地域において、日本企業のビジネス拡大が期待され、そのための投資環境の改善やインフラの整備が重要な課題となっています。

中東・アフリカ地域における国別実績(2019年度)



2020年2月にアフリカ企業において生産管理に携わる、もしくは5Sおよび改善活動を推進する立場にある経営者・経営幹部・管理者を対象とした2週間の受入研修を実施し、エジプトから4名、ケニアから2名、モーリシャスから2名、スーダンから8名が参加しました。このコースでは、5S、カイゼン、品質管理、人材育成、組織能力向上等をテーマとした講義、見学を組み合わせ、日本の「ものづくり」の考え方と生産管理手法を学ぶことを通じて、参加者の生産管理能力の向上を図りました。

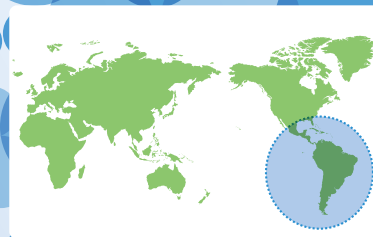
さらに、同窓会活性化を目的に、タンザニア、ザンビアで巡回セミナーを実施しました(P.11参照)。経済産業省からの受託事業においては、セメント産業の低炭素型ハイブリット技術導入支援を目的に南アフリカに専門家を派遣し

ました。また、西アフリカ電子商取引制度構築支援を目的に、カーボベルデ、ガーナ、ギニア、コートジボワール、セネガル、シエラレオネ、ナイジェリア、ニジェール、ブルキナファソ、マリから研修生を招聘しました。

また、2019年8月に横浜で開催されたTICAD7サイドイベントとして実施されたNPO法人STSフォーラム (Science and Technology in Society forum)主催の分科会「日-アフリカ ワークショップー 科学技術とイノベーションによる連携の強化」にて、AOTS桑山信也理事長がスピーカーの一人とし登壇し、世界経済におけるアフリカ市場及び産業の役割の増大に呼応したAOTS事業におけるアフリカ産業発展に資する人材の育成に関する取り組みについて講演を行いました。

地域別
事業報告

5 中南米地域



Latin America region



中南米地域は、資源需要の低迷等による景気低迷が継続しているものの、豊富なエネルギー・鉱物資源、高い食糧生産力を持つほか、域内人口5億6千万人の巨大な市場を有しています。

また、地域統合、自由貿易協定の締結が進展し、経済の更なる発展も期待され、日本と中南米諸国は今後更に重要な貿易・投資のパートナーとなる可能性を十分有しています。そのため、経済基盤の整備のためにも現地の人材育成がますます求められます。

中南米地域における国別実績（2019年度）

受入研修生数

247名

海外研修生数

14名

派遣専門家数

16名

派遣インターン数

0名



自動車製造業の進出が進むメキシコからは、技術移転を目的とした研修に15名が参加しました。また、現地ローカル企業等の管理者に対する人材育成も積極的に行っており、補助事業においてメキシコおよび中南米向けに生産管理をテーマとして受入研修を実施し52名を招聘しました。自主事業では、同窓会等の要望を受け、ペルー鉱山会社向けイノベーションセミナー、アルゼンチン、ブラジルの企業経営者・管理者向けの日本企業経営コースを実施しました。

中南米地域では、ペルー同窓会、アルゼンチン同窓会が、5S活動の普及を目的に自主的に大会組織委員会を立ち上げ、ペルーでは2014年からアルゼンチンでは2016年から毎年、全国5S大会を実施しています。モンテレイ同窓会もこれら2同窓会に倣い小規模ながら5S大会を実施し、地域での5S普及に努めています。



5S大会授賞式の様子(アルゼンチン)

地域別
事業報告

6 その他
(欧州・大洋州・北米地域)

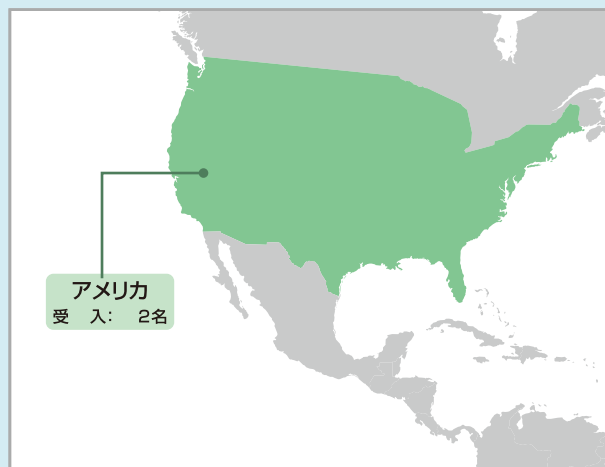
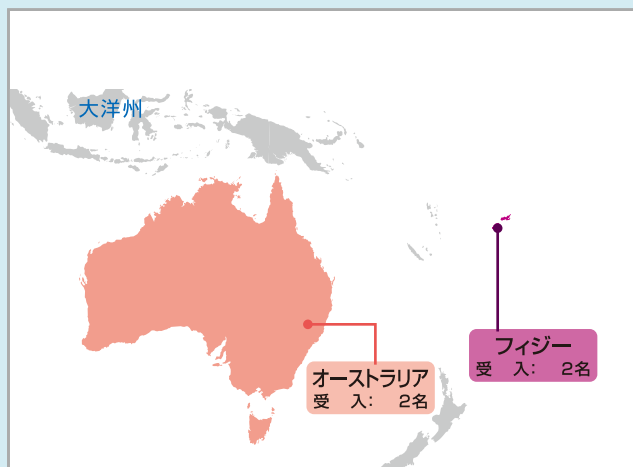
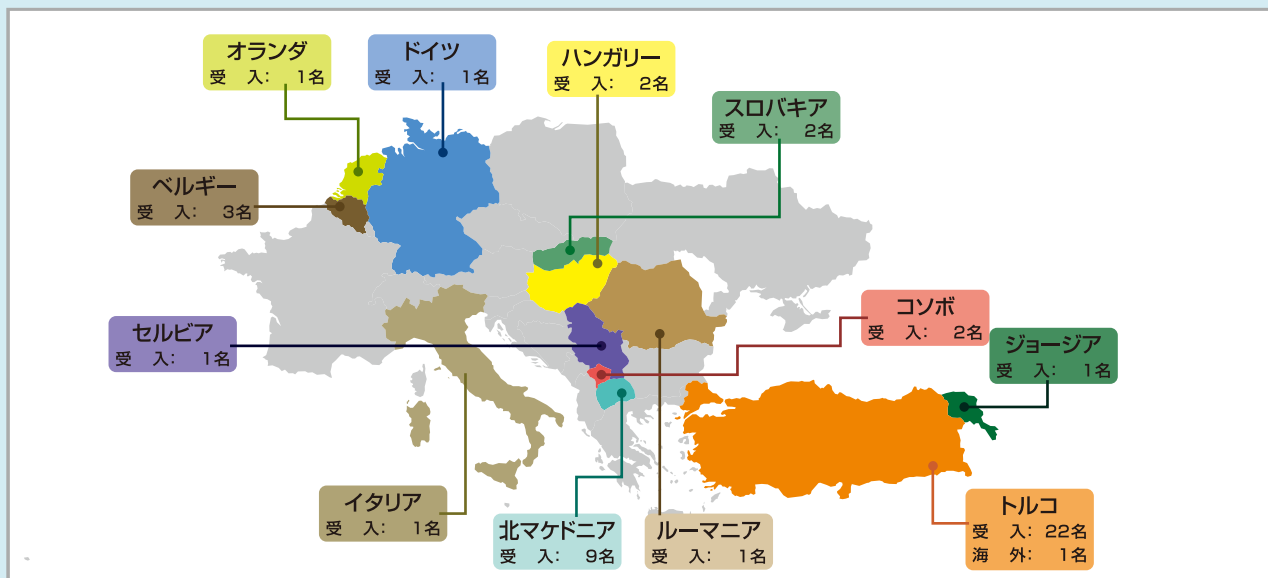


Other regions



これら地域からの研修への参加は僅かなものの、2019年度は、現地日系企業等より派遣された産業技術者への固有技術の習得のための研修および現地企業の管理者向け研修コースにコンボ、北マケドニア、セルビア、トルコより13名が参加しました。また、厚生労働省からの受託事業および一般社団法人発明推進協会からの受託事業においても欧州、大洋州地域より研修生を招聘しました。

欧州・大洋州・北米地域における国別実績(2019年度)



受入研修生数

52名

海外研修生数

1名

派遣専門家数

0名

派遣インターン数

0名